

ほと通信

❶ 弁護士によるB型肝炎特別措置法 無料相談会

集団予防接種でB型肝炎になった人とその家族を対象に、弁護士による無料相談会を行います。

日時 令和7年7月26日(土)

午後1時30分～午後4時 ※午後3時受付終了

場所 いわき市労働福祉会館 中会議室1・2

- その他
- ・予約を優先します
 - ・当日、会場での申し込みも可能です
 - ・個人情報は厳守します

☎全国B型肝炎訴訟新潟・福島・山形事務所
☎025-223-1130


❷ 納税のお知らせ

令和7年度村県民税(勤務先給与より村県民税が天引きされない方)、国民健康保険税の納税通知書および介護保険料(年金より保険料が天引きされない方)の納入通知書は、6月13日(金)に発布します。

口座振替の方は、指定口座の残高のご確認をお願いします。未納のまま一定期間を経過すると、法律に定めるところにより延滞金が発生します。

今月の納付	村県民税 国民健康保険税 介護保険料	第1期	納期限	6月30日(月)
-------	--------------------------	-----	-----	----------

※納税についての相談がある人は、お早めに村総務課税務係までご連絡ください。☎総務課税務係 ☎49-3111



戸草川支流水質簡易検査結果公表 (※今月は簡易検査です)

検査実施機関		福島県南地方振興局県民環境部	
採水年月日		令和7年5月29日	
項目		数値	
透視度	cm	14.5	
色	-	薄黄色	
臭い	-	無し	
生物化学的酸素要求量(BOD)	(個/cm)	60	
残留塩素	-	無し	

採水場所 鮫川ファーム敷地境界

※1 生物化学的酸素要求量(BOD) 微生物が水中の有機物を分解する時に消費する酸素量。値が大きいほど水の汚れの度合いが高い。

☎地域整備課環境係 ☎49-3114

❸ まめな暮らし応援商品券を 発行します

村は、昨今の物価高騰が続く状況に対する施策として、村内で利用できる「まめな暮らし応援商品券」を村民1人あたり1万円分発行します。

対象 令和7年5月1日現在、村に住所を有するすべての人

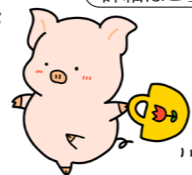
配付方法 6月13日(金)に村から世帯主あてに、各行政区の回覧を通して配付します。

利用期間 令和7年9月30日(金)まで
その他 利用できる村内の事業所は、配布のチラシまたは村ホームページをご覧ください。



[詳細はこちら](#)

☎農林商工課商工観光係
☎49-3113



村内の交通事故発生件数 (5/1~5/31)

令和7年5月中			
発生件数	死者数	傷者数	物件事故
0件(±0)	0人	0人(±0)	2件(-4)
令和7年1月~5月末現在			
発生件数	死者数	傷者数	物件事故
1件(+1)	0人	1人(+1)	17件(-4)

☎棚倉警察署地域交通課 ☎33-0110

ほと通信

申込期限
6/20
金

美活動刈上げ鮫(ジョーズ) // 今年も遊休農地解消と空き家活用に挑戦 //

鮫川村関係人口創出事業 草刈り & 大豆栽培 イベント参加者募集中

村では「美活動刈上げ鮫(ジョーズ)」として草刈りボランティアを育成するため、村内外から積極的に草刈りなどの活動を実施してくれる人を募集しています。年間を通じて活動を予定していますので、村民のみなさんのご参加お待ちしております。

開催日

6/28(土) 29(日)



内容

28日(土) 刈払機講習会

時間 午後0時50分～午後5時

場所 村公民館

受講料 15,000円

※宿泊・食事代は別途

内容 刈払機の安全な操作方法を学びます。

29日(日) 草刈り実習 & 大豆栽培

時間 午前9時～午前11時

場所 村内

内容 ▶実際に刈払機を使用し、草刈りの実習講座を行います。
▶地域の人と一緒に特産品である大豆の種まきをします。

お問合せ

運営 / 合同会社明日飛

TEL. 57-5958 MAIL. farmsubasa.dai@gmail.com



←お申込みはこちら

主催 / 鮫川村

中山間地域等直接支払交付金 次期対策説明会

今年度から始まる第6期中山間地域等直接支払交付金(以下、中山間事業)の説明会を開催します。集落の代表には、6月に別途通知をお送りしています。予約は不要ですので、直接会場にお越しください。

日時 令和7年6月26日(木) 午後6時30分～

場所 村公民館 大集会室

- 内容** ①第6期中山間事業の変更点について
- ②対象農用地について
- ③事務の請負について
- ④振込手数料の変更について
- ⑤その他

農林商工課農林畜産係 ☎49-3113

林業アカデミーふくしま 令和8年度研修生を募集します

県は、森林・林業に関する基礎知識や林業に必要な技能・技術の習得、各種資格の取得などを1年を通して学び、研修終了後に県内の林業事業体などへ就職し林業を担う人材育成を目的に、就業前長期研修生を募集します。

受講条件 次の3つの条件を全て満たす人

- ①福島県内の林業事業体に就業を希望する人
- ②高等学校卒業もしくは同等の学力を持った人
- ③令和8年4月1日時点で50歳未満の人

募集定員 15人程度

選考期間 ①推薦選考…令和7年7月1日(火)～7月31日(木) / ②一般選考…令和7年9月1日(月)～9月26日(金)

受験料 無料

募集要項 ホームページをご確認ください。

研修期間 1年間(令和8年4月～令和9年3月)

研修受講料 118,800円 ※別途作業服、テキスト代、傷害保険などの費用が必要になります(年間20万円程度)

農林業研究センター企画研修部

☎024-945-5974



詳細はこちら

ふくしま狩猟ワールド 2025

県は、狩猟の魅力や面白さを体験できるイベントを開催します。各会場ではゲストによる講演のほか、射撃シミュレーターやジビエの試食などが体験できます。

定員 各会場 60人

対象 狩猟に興味のある人

参加料 無料

その他 事前申し込み制 ※応募多数の場合抽選

【いわき会場】

日時 令和7年7月20日(日) 午後1時～午後4時

申込締切 令和7年7月9日(水)

場所 いわき産業創造館・企画展示ホール

講演会 「狩猟生活の理想と現実～それでも狩猟って楽しい!～」

講師 女性猟師 Nozomi 氏

【郡山会場】

日時 令和7年8月23日(土) 午後1時～午後4時

申込締切 令和7年8月6日(水)

場所 郡山市労働福祉会館・3F大ホール

講演会 「若手移住ハンターに聞く～わたしが狩猟をはじめたまで～」

講師 磐梯町地域おこし協力隊 細井航氏

農「ふくしま狩猟ワールド」運営事務局

☎024-523-1457

(福島民友新聞社内：平日午前10時～午後4時)

【主催】福島県自然保護課

【協力】(一社)福島県猟友会



詳細はこちら

サマージャンボ7億円 (1等5億円・前後賞各1億円合わせて) サマージャンボミニ同時発売

ネットでも買える!

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

各1枚 300円

7月11日(金)発売!

発売期間 7/11(金)～8/11(月)

宝くじ公式サイト | 公益財団法人福島県市町村振興協会

自衛官を目指しませんか

＜一般曹候補生採用試験＞

応募資格

18歳以上33歳未満の人(32歳の方は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない人)

受付期間

- ①7月1日(火)～9月2日(火)
- ②9月16日(火)～11月21日(金)

入隊時期

令和8年3月下旬～4月上旬

※上記の他に設定する

場合があります。

農自衛隊福島地方協力本部

白河地域事務所

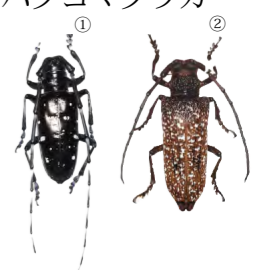
☎0248-24-0372



詳細はこちら

外来カミキリムシに注意

県内において外来生物である「①ツヤハダゴマダラカミキリ」および「②サビイロクワカミキリ」が確認されています。幼虫が木の内部を食い荒らすことにより木が枯死してしまい、倒木などを引き起こす可能性がありますので注意が必要です。



＜主な防除方法＞

▶伐採…最も効果的な方法です。成虫の発生しない10月～4月ごろに行うのが望ましいです。▶薬剤防除…排糞孔に薬剤を噴射する方法や木全体へ薬剤を散布する方法があります。

＜外来カミキリムシを見つけたら＞

発見場所、被害樹木などをお知らせください。成虫を捕まえた場合は、殺処分してください。



詳細はこちら

農林商工課農林畜産係 ☎49-3113

7月は「愛の血液助け合い運動」月間です

福島県・日本赤十字社では、血液製剤の国内自給を確保するため、7月1日～31日にかけて愛の血液助け合い運動を実施いたします。定期的な献血のご協力をお願いいたします。

多くの患者さんの病気やけがの治療に使われている血液製剤は、献血でご提供いただいた血液からつくられています。血液は、人工的に造ることができず、長い間保存することもできません。また、献血者の健康を守るため、1人あたりの年間の献血回数や献血量には上限があります。そのため、安定的に血液製剤を届けるためには、日々多くの方の協力が欠かせません。

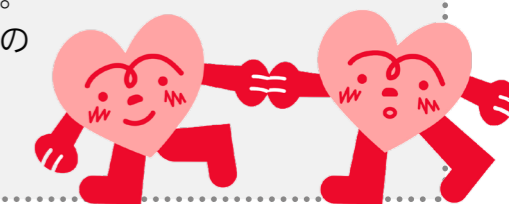
献血は若い世代の協力が必要です

全国における10代から30代の献血者数は、この10年でおおよそ31%も減少しています。福島県においても令和5年度の献血者数は、どの年代も目標数未達成となっています。少子高齢化により献血可能人口が減少している中、若い世代からの協力が得られなくなると、将来の安定供給に支障をきたす恐れがあります。

今後も安定的に献血血液を確保するためには、特に若い世代の献血へのご理解とご協力が不可欠です。献血は命を救うボランティアです。この機会に一度献血に行ってみませんか。



▲詳しくはこちら



農住民福祉課健康係 ☎49-3112